

本年度のアフリカ国向け「企業経営者の経営能力向上」研修が、6月から実施された。先の2年度は、コロナまん延のためオンライン遠隔研修であったが、本年度は来日して実施された。研修参加者の複数から、参加後の感想と感謝が伝えられた。若干、画面はゆいことがないではないが、ご紹介したい。

日本への期待 世界各地から

其
61

ルです。ソフトウェア技術の修士で、プロジェクト・マネジメントのエグゼクティブ・マスター資格を持つようにIT分野を専門とします。当社は西アフリカのセネガルのダカールにあり、デジタルトランセンドフォーメーション(DX)とITセキュリティが主な事業領域です。

カイゼン学んだ数人からの報告

門家育成における卓越的な関与で、JICAを際立たせています。

日本滞在中、伝統と近代性を併せ持ち、活気にあふれ革新的などビジネス環境に、私は身を置く機会に恵まれました。日本の専門家たちとの知識やアイデアの交換は、私の視野を広げただけでなく、帰国後の仕事に反映できる新鮮な視点を与えてくれました。

この場をお借りし、独立行政法人 国際協力機構(JICA)の貴重な支援のおかげで今回の日本滞在が実現したことに、心から感謝いたしました。国際協力への献身と、専

持たせることになりました。

カイゼンとは、よりよい職場環境や、生産性の向上、売り上げの増加、自己管理などで、企業内のさまざまな要素を組み合わせながら、よりよい方向に変化させることを意味することを理解しました。

同時に、この滞在中、関わった人々の、私が持つて帰ることによってくれたリーム中産連の皆ができたとても大きな知的産物であり、すでに私の会社で教授いただいた方々に心から感謝しています。皆さんのサポート、協力、仲間意識のおかげで、この経験はさらに実り多きものとなりました。

伝統の豊かさは、この旅を本当に忘れないものにしてください。また、これから先もこうして人脈はかけがえのないものであり、これから先もこうして企業内のさまざまな要素などの瞬間も日本を特徴づける過去と現在のユニークな融合の証しでした。

あらためてJICAと、私との人生の忘れられない一章を与えてくださった皆みなさまに、「アリガトウ」と伝えたくなります。国際協力に邁進するに、アラブの言葉で、「アリガトウ」は「感謝」という意味です。国際協力に邁進するに、アラブの言葉で、「アリガトウ」は「感謝」という意味です。

中産連